

市消防出初式

防災の核となる消防団

消防団員 160 人が集結した伊万里市消防出初式が、市民センターでありました。始めに、従業員の消防団活動の重要性を理解し、地域防災に貢献している事業所として、株式会社久野電機製作所（大坪町）を消防団協力事業所に認定し、表示証を交付しました。また、永年勤続者や優良消防団員を表彰し、これまでの活動をたたえました。池田義幸団長は訓示で、「市民の安全・安心のため、培った知識を地域で生かし、防災の中心的存在となって、郷土の繁栄に貢献しましょう」と団員たちの士気を高めました。



1.15

↑ 団員の士気を高める池田 団長
↑ 消防団協力事業所に認定した株式会社久野電機製作所

国際ソロプチミスト伊万里が男女協働参画啓発グッズを寄贈 誰もが安心して暮らせるように

国際ソロプチミスト伊万里が、DV防止の啓発メッセージが入ったアルコールティッシュ 200 個を市に寄贈しました。国際ソロプチミスト伊万里は、女性と女児の生活の向上のためにさまざまな取り組みをされていて、DV被害者支援や男女協働参画啓発のための市への寄贈は8回目。寄贈されたアルコールティッシュは、今後、男女協働参画懇話会いまりプラザを中心に毎年開催する『女性に対する暴力をなくす運動』期間中の街頭啓発活動や講演会などで配布し、DV防止への理解促進を行っていきます。



12.23

↑ 国際ソロプチミスト伊万里の水田妙子会長（右から2人目）と役員、深浦弘信市長（同3人目）

波多津少年野球クラブ平松虎太郎選手 市長表敬訪問

夢はプロ野球選手

波多津小学校6年の平松虎太郎さんが、NPB 12 球団ジュニアトーナメントへの出場を、深浦弘信市長に報告しました。これは、子どもたちにプロ野球への夢を身近に感じてもらうと企画されたもので、平松選手は福岡ソフトバンクホークスジュニアチームに、県内から唯一選出されました。キャプテンとしてチームをまとめて、12月27～29日に行われた試合では、惜しくも決勝トーナメント進出とはなりませんでしたが、平松選手は投手として、横浜スタジアムのマウンドで全力投球しました。



12.15

↑ 「どんなバッターにも動じない、強気なピッチングが持ち味」とアピールする平松選手（左から3人目）

川内産業株式会社が山代コミュニティセンターに備品を寄贈 ふるさとへの恩返し

創業 50 周年を記念し、11 月にサニタリーボックスを市に寄贈した川内産業株式会社（山代町）が、続いて、65 型テレビなどを寄贈しました（寄贈の明細は 22 ページに掲載）。この寄贈は、会長の立部薫さんが、「ふるさとである山代町の活性化に貢献し、地域に根ざす会社を目指していきたい」との思いで実現。町民を代表し、感謝状を贈呈した山代町元気なまちづくり運営協議会の山本和良会長は、「映画上映会など、娯楽の充実に活用し、地域のふれあいを推進していきます」と謝辞を述べました。



12.22

↑ 立部会長（前列左から3人目）から贈呈されたさまざまな備品は、山代町の活性化のため有効活用します